

## 活動テーマ

# 知ろう、広げよう、私たちの未来につなげよう！！

### 実践事例について

愛北小の子どもたちは、身の周りの豊かな自然や環境を守ろうとする地域の人たちや施設とつながって体験活動を行ったり、地域の福祉施設と協力して学習したりしている。自分の生活をふり返り、家庭でも実践できる活動へと取組を広げている。

## 1 学校環境

本校は、鈴鹿の山々を背にし、田畑や果樹園の広がる農村地帯に位置する。近くに湖東三山の一つ「百済寺」があり、歴史と豊かな自然に囲まれた学校である。

地域の産業は兼業農家が多い。地域の地形や気候を生かした、ぶどうや梨等の果樹栽培が盛んに行われており、本校児童も実際に畑に行き、その栽培の一端を体験させてもらっている。

また、愛東地区が発祥となった「菜の花エコプロジェクト」は全国的にも有名である。環境に配慮しながら安全で安心な農作物を作る「環境こだわり農業」などの推進に力を注がれている。現在では、あいとうエコプラザ「菜の花館」を拠点として、資源循環型の地域づくりが活発に進められている。

## 2 実践事例

### (1) 全校 「びわ湖の日」の取組

7月1日、「びわ湖の日」に関しての意義や取組について校内放送で紹介し、その後各学年の発達段階に応じて、本校における「びわ湖の日」の取組の事前指導を行った。

7月1日からの3日間、低・中・高学年と分かれて、運動場の除草に取り組んだ。



### (2) 学年の主な活動

#### ア 3年生 びわ湖の池での

#### カワバタモロコ飼育

かつて西日本各地で生息していたが、現在東近江で2カ所のみが生息地となった絶滅危惧種であるカワバタモロコを、校地内にある「びわ湖の池」で飼育している。近年天敵であるアメリカザリガニが増え、カワバタモロコの環境が脅かされている。そこで、カワバタモロコの生育環境をよくするため、池の水を抜き、カワバタモロコをいったん水槽に移し、ザリガニ等を駆除した。来春には、カワバタモロコのみが生育する池にしようと考えている。



## イ 4年生 梨栽培と観察

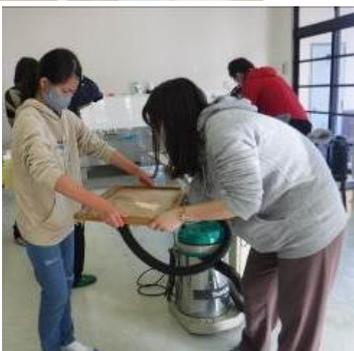
地域の梨農家の方から、梨の木を借り受け、児童が花や実の観察、実験、摘果や収穫等の作業を行った。梨の栽培について詳しく学ぶとともに、梨農家の方の努力や苦勞について知ることができた。



## ウ 6年生 環境学習とケナフ栽培

6年生は、地球規模の環境問題について学習し、地球温暖化や大気汚染などについて図書やインターネットを活用して調べ学習を行い、わかったことをまとめて、保護者や地域の方に発表した。

また、愛東の大気を少しでも浄化させるためにケナフを栽培し、12月に親子活動で紙漉をした。漉いた紙が卒業証書となる。



## (3) 環境委員会の活動

環境委員会では、全校にエコ活動と呼びかけ、エコ意識を高めてもらえるようにはたらきかけを行った。

その一つが、「エコキャップ回収」である。全校のみんなに協力してもらえるよう、各学年の教室にペットボトルキャップ入れの箱を置いて収集を呼びかけた。集めたペットボトルキャップは、地域の福祉施設「あいとう和楽」に寄付し、福祉活動に役立ててもらっている。



## 3 成果と課題

それぞれの活動が児童に浸透しているため、今までの活動を知る6年生の子どもたちが4月から主体的に活動を進めていくことができる。その活動が次年度の6年生への興味、関心を高めることにつながっている。また学習の中や家庭生活の中での会話などを通して、子どもたち自身が環境に目を向けることや省エネ・省資源を意識し、自分たちの手で実践していこうという思いにつながっている。今後も深化させ、よりよい体験活動を探っていきたい。

「エコな暮らし」は、ESDにつながり、これからの未来に生きる子どもたちには必要不可欠な学びである。今年度はコロナ禍ということで、活動に制限があったり、活動自体が難しかったりしたこともあるが、そのような中でも実施できた活動をふり返り、子どもたちとともに課題を明らかにして、次年度に生かしていきたい。そして、これからの暮らしの中で、さらにPDCAサイクルを意識したより主体的な学習に努めていきたい。



|        |                            |
|--------|----------------------------|
| 学校名    | 東近江市立愛東北小学校                |
| 住所     | 東近江市百済寺本町1399番地            |
| 電話番号   | 0749-46-0588               |
| E-mail | aikitasho@higashiomi.ed.jp |